



たくさん思い出つくらうね！！

4月1日 美幌保育園入園式

暖かな春の陽気に包まれ、先生・保護者が見守る中、入園式が行われました。

これから待っているたくさんの新しいできごとに期待を膨らませながら、キラキラしたまなざしで先生のお話をよく聞き、元気にお歌をうたったり、お返事をしたりしていました。

びほろ町

ぎかい

3月定例会のあらまし

行政報告・人事案件	2 P
令和7年度関連議案	3 P
(補正予算・工事請負契約の締結)	
令和8年度関連議案	3 P
(計画の策定・指定管理者の指定など)	
令和8年度予算質疑	4 P
令和8年度関連議案(条例改正)	7 P
意見書	7 P

こんなことを聞きました

一般質問 11人登壇	8 P
------------	-----

こんなことを決めました

1月臨時会	20 P
2月臨時会	20 P

No.260 令和8年5月1日

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。



3月定例会のあらまし

会期は17日間で閉会

- 【3日】** 町長から行政報告を受けた後、斜網地区廃棄物処理組合議会議員の選挙を行いました。次に、町提出案件として、オホーツク町村公平委員会委員の選任、美幌町農業委員会委員の任命、令和7年度関連議案である補正予算を審議し、原案どおり可決しました。その次に、令和8年度関連議案を一括上程し、町政執行方針と教育行政執行方針が示された後、議員1名（松浦）が一般質問に登壇して、マイナンバーカードの健康保険証利用登録拡大などについて活発な議論が交わされました。
- 【4日】** 議員5名（馬場・大原・藤原・稲垣・木村）が一般質問に登壇し、農業振興対策、町営住宅建替事業、健康増進、投票率向上の施策、業務の効率化などについて活発な議論が交わされました。
- 【5日】** 議員5名（上杉・宮崎・高橋・横山・大江）が一般質問に登壇し、交通空白路線の解消、美幌の自然保護、町民会館の機材整備、商店街活性化、多文化共生などについて活発な議論が交わされました。
- 【6日】** 各担当部長から新年度関連議案についての説明を受けた後、休憩中に各議員が新年度関連議案に対する疑問点を整理しました。
- 【9～11日】** 休憩中に各議員が新年度関連議案に対する疑問点を整理し、関係部局へ資料要求を行いました。
- 【12,13日】** 議決休会とし、関係部局において、各議員が資料要求したものに対する資料作成が行われました。
- 【16～18日】** 新年度予算案などの議案に対する質疑を行いました。
- 【19日】** 新年度予算案などの議案に対する質疑を行った後、会派等審議を行い、新年度関連議案の表決が行われ、すべて原案どおり可決しました。次に、追加議案(令和7年度一般会計補正予算)を審議し、原案どおり可決しました。その後、1件の意見書案を可決し、専決処分及び定期監査報告などの報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認して全日程を終了し、閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

■美幌町立国民健康保険病院の医師の退職

令和3年10月1日付で採用いたしました内科の常勤医師である渡部浩二わたなべこうじ医師より、一身上の都合により令和8年3月31日付をもって退職したいと退職願の提出がありましたので、本人の意思を尊重し退職を承認いたしました。今後も地域医療を守り、安心・安全な医療を提供するため、一日でも早い後任医師の確保に最大限の努力を重ねてまいります。

人事案件

選任及び任命の同意をしました。

こんなことを決めました

■オホーツク町村公平委員会委員 任期：令和8年4月1日から令和12年3月31日まで（4年間）

ふなき じゆんじ 舟木 淳次 氏（新）

■美幌町農業委員会委員 任期：令和8年4月17日から令和11年4月16日まで（3年間）

かわはら なおと 川原 直人 氏（新）

おおや ひでかず 大屋 秀和 氏（新）

こたに なおみ 小谷 直巳 氏（新）

あんどう なおひろ 安藤 尚浩 氏（新）

なかむら すえこ 中村 寿恵子 氏（再）

かわじり りょうこ 川尻 良子 氏（新）

たなか やすひろ 田中 康弘 氏（新）

うめつ こういち 梅津 幸一 氏（再）

かまなか てるゆき 鎌仲 照幸 氏（再）

とりい たかし 鳥井 隆 氏（再）

せお かずよし 瀬尾 和義 氏（新）

よこやま なおこ 横山 直子 氏（新）

ぬるい よしひこ 沼井 義彦 氏（新）

たかやなぎ ひろき 高柳 博樹 氏（新）

かわじり まさゆき 川尻 眞幸 氏（新）

いじま まさひろ 飯島 優浩 氏（新）

たけだ とおる 武田 透 氏（再）

さかい ゆうじ 酒井 祐二 氏（再）

おおまえ まさゆき 大前 眞幸 氏（新）

まつうら たけし 松浦 健 氏（新）

こ
ん
な
こ
と
を
決
め
ま
し
た

令和7年度関連議案

補正予算

すべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

- 美幌町一般会計補正予算（第10号）
 - ・新基本計画実装・農業構造転換支援事業の実施に伴う農林水産省の間接補助 … 14億8,523万6千円の増額
 - ・町有財産未利用施設除却事業の追加 …………… 792万5千円の増額
- 美幌町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
高額療養費支給事業費の増額など
- 美幌町介護保険特別会計補正予算（第4号）
介護認定審査会運営事務費の減額など
- 美幌町水道事業会計補正予算（第3号）
量水器取替業務の確定に伴う材料費の減額など
- 美幌町公共下水道事業会計補正予算（第5号）
管渠整備事業等の確定に伴う建設改良費の減額など
- 美幌町個別排水処理事業会計補正予算（第3号）
個別排水処理浄化槽設置工事費の確定に伴う建設改良費の減額など
- 美幌町病院事業会計補正予算（第3号）
職員未補充に伴う給与費の減額など

各会計補正額と補正後の総額

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計（第10号）	13億6,779万4千円	186億8,699万6千円
国民健康保険特別会計（第3号）	777万8千円	23億9,421万6千円
介護保険特別会計（第4号）	△96万円	22億7,398万3千円
水道事業会計（第3号）	△3,655万7千円	11億1,993万7千円
公共下水道事業会計（第5号）	△2,625万7千円	12億3,607万8千円
個別排水処理事業会計（第3号）	△4,234万円	1億2,740万4千円
病院事業会計（第3号）	△8,231万9千円	29億5,582万1千円

※（ ）内は、補正回数

工事請負契約の締結

原案どおり可決しました。

- みどりの村農業実習施設改修工事
…………… 2億6,180万円



グリーンビレッジ

令和8年度関連議案

計画の策定

原案どおり可決しました。

- 美幌町過疎地域持続的発展市町村計画
現行の過疎計画が令和7年度末で期限を迎えることから、新たに令和8年度から令和12年度までの計画を策定し、国の財政上の優遇措置を活用するとともに、地域の持続的発展に向けた取組を進めるため、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき計画を策定するもの

指定管理者の指定

すべて原案どおり可決しました。（ ）内が選定された指定管理者

- 美幌峠レストハウス展望休憩室（美幌商工会議所） ■美幌ターミナル物産センター（美幌観光物産協会）



※指定期間は、いずれの施設も令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

令和8年度当初予算 こんなことを決めました

一般会計 157億2493万1千円

第IV期埋立処分場整備、旭団地建設などの施設整備、行政事務におけるデジタル化、義務教育学校整備や美幌高校の生徒確保対策の推進、物価高騰等による行政サービス・施設維持管理経費の増加など

令和8年度の予算編成にあたっては、人口減少や少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増大や、恒常的となつている物価高騰、労務・資材単価の上昇による各種経費の増加など、引き続き厳しい財政状況が予想される中、第6期美幌町総合計画及び第3次美幌町財政運営計画に沿った予算編成を進めてきました。

総務費

デジタル人材育成業務委託料 (1295万円)

研修の内容は、また、DX推進室の体制について。

令和6年度から2か年で育成したDXアドバイザーの中から選抜された最大6名をより高度な専門性を持つDXエキスパートとして人材育成を図るもので、民間事業者のノウハウを活用し、国家資格であるITパスポートの取得を目標とした体系的な学習カリキュラムにより、オンラインでの自己学習、定期的な集合研修や模擬試験を実施することで確実な専門知識を習得できる環境を整える。ま

た、令和9年度には、特定の部署のみならず全庁的なDX戦略の立案や技術検証を一元的に担うDX推進室の設置を検討しており、デジタル推進主幹を統括とし、DXアドバイザーを兼務発令して所属させる。



ふるさと寄付金事業 (6億6138万9千円)

過去3年間における返礼品上位5品目は、また、今後の返礼品開発見込みは。

令和5年度から7年度における返礼品実績では、玉ねぎ、アスパラ、牛肉等の農畜産物が主力となつている。新規返礼品の開発について

は、町内の事業者との連携強化を図り、農産物の訳あり品の発掘や海産物の新規追加、既存返礼品の改良等に取り組む。



民生費

介護従事者確保対策事業補助金における外国人介護職員人材確保補助 (180万円)

事業内容及び外国人の就労状況は。

町内介護サービスの事業所が外国人の介護職員を雇用した場合、雇用の際に生じた手数料等の経費について、令和7年4月1日以降に雇用した外国人介護職員一人当たり20万円を介

護事業所に助成するもので、継続して1年以上介護事業所に勤務した場合を助成対象とする。また、令和7年度に採用となつた外国人については、ミャンマー人3名、フィリピン人6名となっている。



衛生費

開業医誘致等助成金 (6000万円)

事業内容及び令和8年度からの拡充内容は。

地域医療の充実に目的とし、診療所を新たに開設、または既存の診療所の増設等をする医師(医療法人)に対し、開設等費用の一部を助

成する制度で、診療に必要な土地、建物、医療機器などの取得に要する経費及び賃借料等を対象経費とし、対象経費の2分の1、上限5000万円までを助成する。令和8年度から、事業継承等（同一法人内の役員異動を除く）による医師（医療法人）を助成対象者に追加する。



省エネ行動ポイント付与アプリ構築業務委託料
(6732万円)

問 業務内容は。
答 美幌町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づく取組として、住民の省エネ行動を支援することで家庭におけるエネルギー消費を抑制し、二酸化炭素の排

出量を減らしてゼロカーボンの実現を目指すものである。住民が家庭の電気使用量や灯油使用量をアプリ上に取り込み、使用量が基準を下回った場合には地域ポイントを付与するもので、ポイントの付与と併せ使用量及び削減量を可視化でき、住民がゼロカーボンに向けた取組を身近に感じながら無理なく継続できる仕組みとしている。



リサイクルセンター維持管理等事業
(7700万円)

問 製品プラの回収時期住民への周知方法は。
答 製品プラの収集開始は、令和9年度当初を予定している。ホームペ

ージ、町広報「まち育」出前講座、住民説明会、報道など様々な手段での周知を考えており、収集開始の段階で混乱が生じないよう努めてまいりたい。



農林水産業費

てん菜生産奨励事業補助金
(1568万8千円)

問 事業内容及び拡充内容は。

答 国では需要の高い作物への転換を支援する補助事業を実施しているが、作付転換が進む中、肥料の価格高騰や猛暑による高温性病害の発生は、収量や糖度に大きく影響を及ぼすことから褐斑病対策を実施

しており、その防除費用の一部を支援することで、作付面積の維持及び生産性の向上を図るものである。令和8年度からは、褐斑病抵抗性品種への切り替え支援を実施する。



てん菜

有害鳥獣対策事業
(42万2千円)

問 箱わな監視用カメラ導入によって期待できる効果は。

答 ヒゲマ用設置箱わなの監視については、これまでの3G回線が令和8年3月でサービスを終了することに伴い、令和8年4月から4G回線対応のカメラを導入し、専用タブレットで映像を受信・管理する体制を構築するものであ

る。今回の更新で、AI画像識別技術により対象動物のみを検知しタブレットに通知されることで監視の負担が軽減されること、アプリを通じてカメラを遠隔操作することで職員の負担軽減と管理業務の省力化が図られること、クラウド上に蓄積された熱感知センサーで自動撮影された画像・動画を分析することで有害鳥



獣のより詳細な出没傾向や生息実態の把握が可能となることが期待される効果である。

一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

議会費	8,827万8千円	(8.8%)
総務費	14億7,854万3千円	(2.1%)
◇ふるさと寄付金事業	6億6,138万9千円	
◇友好姉妹都市交流事業負担金・補助金	350万3千円	
◇防災物資等整備事業	222万7千円	
民生費	27億8,127万3千円	(Δ0.9%)
衛生費	23億7,153万7千円	(27.6%)
◇開業医誘致等助成金	6,000万円	
◇乳幼児等予防接種事業(RS分)	2,786万7千円	
◆骨粗しょう症検診委託	39万6千円	
◆省エネ行動ポイント付与アプリ構築業務委託料	673万2千円	
◇リサイクルセンター維持管理等事業	7,940万3千円	
労働費	2,336万4千円	(Δ3.4%)
農林水産業費	7億1,313万6千円	(Δ13.4%)
◇てん菜生産奨励事業補助金	1,568万8千円	
◆箱わな監視用カメラ導入に係る経費	42万2千円	

令和8年度当初予算 こんなことを決めました

商 工 費

地域アプリ開発委託料

(1631万3千円)

開発内容は。

各分野に分散している行政情報やサービスを一体的に提供する「地域共通プラットフォームアプリ」を導入し、令和8年度は、プッシュ型通知やごみ分別カレンダーの運用に加え、先行搭載する省エネ行動支援機能により町内経済の活性化を推進する。



地域アプリポイント発行事業補助金

(600万円)

内容は、また、スマッピーカードとの関係性は。

地域アプリをインストールしていただいた方を対象に500ポイントを進呈するキャンペーンを行い、地域アプリへのスムーズな移行と、より日常的な利便

性の向上を目指す。また、現在のスマッピーカードの機能をミニアプリ化し、地域アプリ内の共通機能として統合することで、1ポイント1円の地域ポイント運用を開始する。

さらにリフォーム工事を「一般改修」と「空き家改修」に細分化し、これらの区分に応じた補助率及び上限額の見直しを行っている。補助率及び上限額の見直しについては、これまでの実績を基に、複数の工事区分の組み合わせを勘案し、従来制度より増額となるよう検討を進めたことによるものである。

少の緩和や地域の活力維持につなげていくことである。

土 木 費

住居リフォーム促進補助金

(3460万円)

前年度からの改正内容及び改正理由は。

補助対象者を「二世帯」「子育て世帯」「二世帯居住世帯」に区分したことに加え、補助対象工事を「一般改修」と「環境負荷低減工事に区分

従来から補助対象としていた環境負荷低減工事を明確に区分することで環境配慮型リフォームの推進を加速させること、また、子育て世帯に対する支援を重点的に行うことで、人口減

美幌高等学校魅力化事業(1346万6千円) 町内唯一の高校である美幌高等学校の魅力ある高校づくりを支援、生徒確保に向けた対策を引き続き支援するため、令和8年度においては、新たに給食を提供することとし、おおむね2学期から提供ができれば、美幌高校生が主

教 育 費

美幌高等学校魅力化事業

(1346万6千円)

支援事業内容は。

町内唯一の高校である美幌高等学校の魅力ある高校づくりを支援、生徒確保に向けた対策を引き続き支援するため、令和8年度においては、新たに給食を提供することとし、おおむね2学期から提供ができれば、美幌高校生が主



体的に地域や学校の魅力を発信する探究学習に対する支援を行う。



美幌高校

引き上げによる効果は。 就学援助は、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して学用品費や校外活動費などの援助を行う制度で、基準となる倍率を見直した場合、令和7年度実績に基づき試算すると、小学生8人程度、中学生6人程度が新たに対象となる見込みである。

要保護標準要保護生徒 就学援助費【小中学校】 (1557万5千円)

要保護標準要保護生徒 就学援助費【小中学校】 (1557万5千円)

一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

商 工 費	5億2,014万円	(2.0%)
◆地域アプリ推進事業	2,231万3千円	
◇店舗リフォーム促進支援事業補助金	840万円	
◇みどりの村管理運営事業	5,500万円	
土 木 費	26億6,781万5千円	(79.1%)
◇住居リフォーム促進補助金	3,460万円	
◆仲町団地解体除却工事設計業務委託料	6,330万8千円	
◆仲町団地建替に伴う移転補償	585万円	
消 防 費	4億8,014万2千円	(Δ15.3%)
教 育 費	10億1,486万1千円	(Δ18.1%)
◇美幌高等学校魅力化事業	1,346万6千円	
◇部活動地域展開推進事業	6,219万6千円	
◇要保護標準要保護児童就学援助費(小中学校)	1,557万5千円	
公 債 費	12億8,551万1千円	(10.1%)
職 員 給 与 費	22億9,933万1千円	(4.9%)
予 備 費	100万円	(0.0%)

令和8年度関連議案

条例の制定と改正

すべて原案どおり可決しました。

■美幌町附属機関に関する条例の一部改正

美幌町行政改革大綱について国の動向や大綱の見直しの内容を踏まえ、令和8年4月から運用を開始する新大綱から「行政改革」の表記を「行財政改革」へ変更することに伴い、附属機関である「美幌町行政改革推進委員会」の名称を「美幌町行財政改革推進委員会」に変更することから所要の改正を行おうとするもの

■美幌町職員の給与に関する条例の一部改正

救急呼出待機手当に関して文言整理を行おうとするもの

■美幌町税条例の一部改正

令和8年度から子ども・子育て支援金制度が開始されることに伴い、国民健康保険税の課税区分に、既設の医療分・後期高齢者支援分・介護分に新たに子ども・子育て支援分が漸設され、子育て支援分保険税の賦課徴収が開始となることから所要の改正を行おうとするもの

■美幌町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法に基づき、令和8年4月から開始される乳児等通園支援事業に対応した給付制度の対象事業所を認定するために必要な運営に関する基準を定めるため、新たに条例を制定しようとするもの

■美幌町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、関係規定の整備を図る必要があることから所要の改正を行おうとするもの

■美幌町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

美幌町立国民健康保険病院の診療科目に脳神経外科を追加し、文言の整理を行おうとするもの

■美幌町火入れに関する条例の一部改正

林野火災予防の実効性を高めることを目的とした美幌・津別広域事務組合火災予防条例の一部改正に伴い、森林等における火入れの中止要件等について所要の改正を行おうとするもの

斜網地区廃棄物処理組合議会議員

選挙を行いました。選出議員は次のとおりです。



大原 昇 議員



馬場 博美 議員



稲垣 淳一 議員



伊藤 伸司 議員

1件の意見書案を可決し国の機関へ提出

令和8年3月定例会では、3件の陳情のうち1件の意見書案を可決し、国の機関へ提出しました。主な内容は次のとおりです。

中東情勢の安定とエネルギー安定確保を求める意見書（要旨）

アメリカ、イスラエルとイランを巡る軍事的緊張が増大し、原油やガスの価格高騰を招いている。美幌町においても、燃油価格や電気料金の高騰は、住民生活のみならず地域経済全体に大きな影響を及ぼしており、エネルギーの安定供給は極めて重要な課題となっている。よって、国において、当事国をはじめ国際社会と連携し国際法を厳守しつつ、外交努力を通じて中東地域の緊張緩和と早期の事態収拾を図るとともに、我が国のエネルギー安定供給の確保及び国民生活への影響を抑えるよう必要な対策を継続するよう強く要望する。



こんなことを決めました

一般質問

一般質問には11人が登壇しました。
質問事項と質問要旨は次のとおりです。

順	質問者	質問事項	質問要旨
1	松浦和浩 議員	1 災害対策について	(1) 個別避難計画について
		2 マイナンバーカードの健康保険証利用登録拡大について	(1) マイナンバーカードの健康保険証利用登録拡大に向けた「マイナ救急」等のメリットに関する周知について
		3 美幌高等学校魅力化コーディネーター事業について	(1) 委託事業の未了について
		4 義務教育学校整備事業について	(1) 自転車通学における交通安全対策及び自転車置き場・駐車場の整備について
2	馬場博美 議員	1 農業振興対策について	(1) 農業の担い手対策について
			(2) 農作物の干ばつ対策について
			(3) 今後における農業振興対策について
		2 除雪について	(1) 除雪等の実施状況について
			(2) 除雪等に対する苦情等の対応について
			(3) 冬期間における道路の安全点検について
			(4) 冬期間における通学路の安全確保について
			(5) 今後の除雪等の改善及び対応について
		3 美幌町職員の組織体制等について	(1) 職員の定数確保の見直しについて
(2) 職員の中途退職者の対応について			
(3) 会計年度任用職員の処遇改善について			
3	大原昇 議員	1 町営住宅建替事業について	(1) 旭公住完成後の仲町公住入居者への対応策について
		2 観光行政について	(1) 美幌のれんについて
4	藤原公一 議員	1 健康増進について	(1) いきいき百歳体操の導入について
		2 子育て支援について	(1) 搾乳・授乳室の設置について
		3 美幌高校の魅力発信について	(1) 美幌高校における農業福祉実践コース設置について
5	稲垣淳一 議員	1 投票率向上の施策について	(1) 投票率の向上について (2) 主権者教育について
		2 ふるさと納税について	(1) 現地決済型ふるさと納税制度導入について
6	木村利昭 議員	1 業務の効率化について	(1) 行政事務や施策業務の効率化について
7	上杉晃央 議員	1 交通空白路線の解消について	(1) 交通事業者の人材確保の現状と課題について (2) 女満別空港への交通手段にライドシェア（自家用車有償運送）の導入について
		2 防災体制の充実について	(1) 防災体制充実と今後の防災対策の課題について (2) 学校における防災教育の取組について
8	宮崎奈津江 議員	1 美幌の自然保護について	(1) 環境共生が調和した持続可能なまちづくりについて
9	高橋秀明	1 町民会館の機材整備について	(1) 町民会館の機材の拡充整備について
		2 JR美幌駅舎の設備整備について	(1) 駅舎内の跨線橋階段手すり整備について
10	横山清美 議員	1 商店街活性化について	(1) 空き店舗の有効活用について
		2 高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて	(1) 独居高齢者の安心登録制度について (2) 介護認定について
		3 美幌町民会館の利用促進について	(1) 利用内容について (2) 利用拡大に向けた機器の導入について
11	大江道男 議員	1 多文化共生について	(1) 多文化共生の取組について (2) 外国人の労働環境整備について
		2 町民会館の備品整備について	(1) 通信カラオケ機器の導入について

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあつて最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。



松浦議員の一般質問YouTube配信は
5:56:56 から 6:56:09 です。



災害対策

まつうら かずひろ
松浦 和浩 議員



問

美幌町における個別避難計画の作成について、現在の進捗状況は

答

浸水被害の可能性が高い地区を優先に作成を進め、今年度末に全地区分を終える見込み

問 個別避難計画作成に当たり今後の課題とその解決に導くための試案は。また、生活弱者との意見交換実施の考えは。

答 緊急時の支援者が身近にいない、支援者となるべき人の高齢化など避難支援者が不足している点が今後の課題であり、平時から町や消防、警察、福祉機関をはじめ、自治会や民生委員、近所の方々などによる

様々な支援体制を構築することが解決に導く試案と考えている。また、心身状態の把握や意見など必要なニーズを個別にお聞きするとともに、関係団体との意見交換を実施したい。

マイナ保険証登録・利用拡大

問 マイナ保険証の登録・利用の拡大に向け、マイナ救急などのメリットを中心としたさらなる周知について。

答 令和7年10月から開始されているマイナ救急実証事業などのメリットをはじめ制度や仕組みをより具体的に

分かりやすく情報発信するとともに、希望される方がマイナンバーカードを取得しやすい環境づくりに努めてまいりたい。

美幌高等学校魅力化コーディネーター事業

問 事業遂行に時間を要した理由は。

答 応募があつたものの条件面が折り合わず辞退となつたこと、着任予定であつたが次年度の方向性に相違点が生じ配置が困難となつたことが理由である。

問 結果として美幌高校受験者は増えなかつたが、この事業計画の検

証結果について。

答 委託事業者の担当マネージャーが窓口となり、町民、美幌高校教員、生徒へのヒアリングや、町内小中学生、美幌高校生、教員などへのアンケートを実施し、その検証結果を踏まえた戦略提案を本年3月に受ける予定。

問 事業未了となつた請負業者に対するペナルティーと、この業況の考え方について。

答 コーディネーター配置に係る直接的な経費は発生していないが、美幌高校の魅力化づくりを推進するための委託業務が当初の目的を十分に達成できなかったことは事実であり、重く受け止めていく。成果品として受ける戦略提案を活用し、令和9年度以降の

入学者確保に向けて最大限の努力を重ねてまいりたい。

義務教育学校整備事業

問 義務教育学校整備後、自転車通学及び通勤車両数の増加が見込まれるが、自転車置き場及び駐車場の整備、また、交通安全対策についての考え方は。

答 駐輪場、駐車場の整備については、基本設計の中で検討を進めてまいりたい。また、交通安全対策については、教職員駐車場、駐輪場、スクールバスの乗降場所、来客用駐車場などが交差しないようエリア分けをし、児童生徒が安全に登下校やスクールバスを乗降・待機できるように検討を進めてまいりたい。

農業振興対策

ばばひろみ
馬場 博美 議員



問

農業を守るための農業振興について、これまでの取組及び今後の具体的な対策は

答

関係団体と連携しながらその時々課題に対応しているほか、令和8年度から甜菜振興策を拡充予定

への利用拡大や、美幌川畑地かんがい用水の未整備地域について、これまでの取組及び今後の具体的な対応は。

古梅ダム畑地かん

問 農業の担い手対策のこれまでの取組は。

答 みらい農業センターにおいて実践的な研修を行うことや、第三者経営継承方式による新規就農に取り組みとともに、新規就農に係る費用などを補助し、新規就農者の確保・育成、農業就業者減少対策に取り組んでいる。

農作物の干ばつ対策

問 古梅ダム畑地かんがい用水の利用者以外

古梅ダム畑地かんがい用水の利用者以外情や事業の有効性、将来

の財政負担などを総合的に勘案し、関係機関等と緊密に情報共有を図りながら機を捉えた的確な協議を進めてまいりたい。

職員の組織体制等

問 中途退職の原因及び今後の対策は。

答 退職の原因はいずれも自己都合退職であるが、今後とも職員が前向きな気持ちで職務に取り組む、長く働き続けたいと思える職場づくりを進めたい。

問 パートタイムの会計年度任用職員をフル

タイムの会計年度任用職員として任用する考

えは。パートタイムであっても通常業務遂行に支障は生じないと判断している。

除雪対応・対策

問 除雪等に係る住民からの苦情等への対応

は。

答 現地確認を行った上で内容を整理し緊急

性や危険性の度合いを踏まえ必要に応じて直営作業員や委託業者へ対応を指示している。

問 冬期間の道路通学路の安全

問 交差点の角取りが遅かった理由は。

答 例年2月から実施しているが、今年度は12月下旬より実施した。

問 現時点で路面整正

されている理由は。

答 グレーダー等除排雪車両の作業スペースが確保できない幅員の

狭い路線であること、緊急性や危険性の度合いを踏まえ実施の優先順位が低い路線であることが理由である。

問 冬期間における通学路の交通安全対策の取組状況は。

答 積雪時の危険箇所については町建設部による道路パトロールで危険箇所を把握し対応するほか、教育委員会職員が巡回し児童生徒が安全に登下校できるよう努めている。



積雪時の道路

馬場議員の一般質問YouTube配信は0:03:03 から 1:04:23 です。



町営住宅建替事業 問

大原 昇 議員



仲町公住建て替えにより様々なストレスを抱えた入居者に寄り添える対応の環境整備は

答 公営住宅グループで随時相談を受け、訪問等の対応をするなど寄り添った支援に取り組む

問 仲町公住の建て替えに伴い、現入居者の移転・住替先となる旭公住の建設が行われているが、現入居者の不安を少しでも和らげるための対応策について。

答 ①建設工事が順調に進捗していることから引越し時期の前倒しは可能であると判断し計画している。

②町内業者への聴き取りにおいて算定価格との差異は大きくないと認識しており、町として差額を負担する考えはない。

③入居者の状況を踏まえ、物置の施錠を適正に行うこと、他の入居者の迷惑とならない範囲での利用とすること、退去時まで全ての物品を撤去した上で返却すること、物置内での火気使用や危険物の保管は行わないことなどの条件を了承いただけた場合には、お申し出いただいた上でお貸しすることを検討している。

④ストーブの買い替えの必要性は十分に理解しているが、暖房機を含めた設備仕様の変更により町が負担することは難しいと考えている。

美幌のれんの活用

問 令和5年12月定例会において「美幌のれん」の活用についての一般質問があった際、

町長は「のれんをいつでも守っていくというか、それを維持する」というのは、私の気持ちとしてはあまり強く思ってはおりません。

前町長がそれをつくったときに継続性ということについて何も引き継ぎがないし、自分の認識も違う」と答弁されているが、町内外に美幌町の名を知らしめるため「美幌のれん」を美幌町のシンボルとして、町長の目玉施策であるみどりの村及びその他の公共施設で活用する考えは。

答 以前の一般質問においてお答えした後、のれん作成の経過や思

いをお聞きした中でその意義を十分に認識し、大切にしていきたいという考えを持っている。これまでもホームページや広報誌をはじめ公共施設「びほろ」等への掲示、PR名刺への採用など積極的な展開に努めてきたが、このロゴを美幌町の共通イメージとして最大限に活用し、使用場面や目的に応じたPRグッズの展開等を通じ、より戦略的な情報発信を行うことで、美幌町の魅力向上とさらなる認知度向上につなげてまいりたい。



美幌のれん

大原議員の一般質問YouTube配信は 1:16:09 から 2:07:32 です。



健康増進施策

藤原 公一 議員



問

要介護認定率の抑制効果が報告されている「いきいき百歳体操」を導入する考えは

答

現時点で様々な取組を行っていているため、町の主体による積極的な普及は予定していません

オレンジリング習得者が主体となって導入する考えは。

えている。

①現時点では考えていない。

問 美幌町の高齢化率は日本の高齢化率よりも高い水準であることから、要介護認定の起因となるフレイル予防の一つとなる「いきいき百歳体操」導入に当たり、

②健康マイレージ事業との連携は「いきいき百歳体操」に限らず、健康づくりの有効な取組として考えており、様々な健康づくり事業を推進していく場面での活用を継続してまいりたい。

①地域包括支援センターと連携し実証する考えは。
②実証する場合、健康マイレージ事業と連携し参加ポイントを付与する考えは。
③認知症サポーターや

③認知症サポーター等の皆様には、認知症の方やその家族を地域で支える担い手として活動していただいていることから、指導や普及を新たな体制づくりの支援を行う必要があると考



子育て支援

問 美幌町の公共施設における搾乳室、授乳室の設置状況は。また、既存施設において、大規模な改修や予算を伴わず、搾乳や授乳に係る表示の明瞭化、多目的室の活用など段階的な整備を行う考えは。

③認知症サポーター等の皆様には、認知症の方やその家族を地域で支える担い手として活動していただいていることから、指導や普及を新たな体制づくりの支援を行う必要があると考

美幌高校の魅力発信

答 現状は、しゃきつとプラザ、子育て支援センター、きてらす、博物館及び町民会館といった子育て世代の利便が多く見込まれる施設を中心に授乳・搾乳室を設置している。また、各施設においてわかりやすい表示に努めるとともに、適宜、空きスペースを活用するなどして適切に対応できる体制を整えてまいりたい。

問 美幌高校は入学者減少という厳しい条件に直面しており、美幌町の強みを生かした新たな教育モデルへの転換が必要であると考えるが「農業のまち」美幌町として、高校教育段階から農福連携を体系的に取り組む考えは。また、道教委に対し美幌高校

への農福連携特科コース設置について協議・提案を行うことや町主体による農業者・福祉事業者・JA等を含めた検討会設置の考えは。

答 農業福祉実践コースの設置は、カリキュラムの編成や福祉機材の整備、農業と福祉の両分野に精通した教員や特別支援教育を専門とする教員の確保、実習受け入れ農家や福祉事業所との連携など解決しなければならぬ課題が多くある一方、美幌高校の入学者確保は喫緊の課題であることから、高校進学を検討する際、一人でも多くの中学生に美幌高校を選択いただけるよう関係者と連携し、美幌高校の特色や魅力を高めるための取組を積極的に推進してまいりたい。

藤原議員の一般質問YouTube配信は 3:31:09 から 4:17:37 です。



投票率向上施策 問

稲垣 淳一 議員
いながきじゅんいち



問 主権者教育について、教育委員会や学校現場がどのように連携し取り組まれているのか

答 連絡調整を行い、学校現場において主権者教育を高める授業の実践などを行っている

識を高めるため、主権者教育の充実を図ってまいりたい。また、期日前投票の利用も増加しており、有権者の投票行動を支える重要な手段として定着しつつあることから、臨時期日前投票所を2か所設置し、投票環境及び投票率の向上を図っている。今後の取組として、引き続きスムーズな投票手続きの実施など誰もが快適に投票できる環境整備に努め、選挙に関する情報に分かりやすく、きめ細やかに発信してまいりたい。

答 現状の取組として、北海道選挙管理委員会の事業である選挙啓発出前講座を、美幌町選挙管理委員会も協力支援しながら美幌高校で実施した経過を踏まえ、令和5年12月には、美幌町選挙管理委員会単独で美幌高校に出向き、選挙啓発講座を実施し、模擬投票を行うことで選挙の仕組みを体験的に学ぶ機会を提供している。また、直面している課題としては、一過性の

イベントで終わることなく、継続的かつ効果的な主権者教育を推進していくための仕組みづくりであり、在学中に選挙権を有することが多い高校生に対し、選挙啓発講座の内容や伝え方、学校だけでなく家庭や地域全体で主権者意識を高めるための働きかけが大きな課題である。

いは観光施設においてQRコードを用いた寄附を行うことで、電子クーポン等の返礼品を受け取れる「現地決済型ふるさと納税」は、単なる寄附獲得の手段にとどめず、まち歩きを楽しみ、美幌町のファンを増やすための戦略的ツールになると考えるが、今後の導入に向けた考えは。

問 本年2月8日実施の衆議院議員総選挙では、美幌町における投票率が管内及び全道を大きく下回る59・40パーセントとなったが、過去実施の選挙における実績を鑑み、投票率向上に向けた取組について。

答 若年層の投票率が他の年代と比較して低い傾向にあり、全体の投票率を押し下げる要因となっていることから、若年層の関心と参加意

識を高めるため、主権者教育の充実

主権者教育

問 主権者教育の充実

課題としては、一過性の



ふるさと納税

問 観光客やビジネス客が、訪れた自治体内の飲食店、宿泊施設、ある

答 現地決済型ふるさと納税制度については、地域経済への直接的な波及効果が期待できること、美幌町までお越しくださることでファンを増やす効果も高いと考えており、導入に向けて研究を進めているところである。準備や状況が整い次第、順次実施していくほか、民間事業者による今制度の利用についても引き続き研究してまいりたい。

稲垣議員の一般質問YouTube配信は
4:31:10 から 5:25:07 です。



業務の効率化

問

行政事務の効率化等のため、民間事業者への業務委託や行政アドバイザー活用の考えは

木村 利昭 議員
きむら としあき



答

業務の委託化は選択肢の一つとし将来に向けてどのような手法が最も適切か見極め実施する

木村議員の一般質問YouTube配信は 5:41:10 から 6:33:10 です。



問 昨今における社会の多様化、情報更新の高速化等、様々なことが目まぐるしく移り行く時代において、人々や地域のニーズを的確にキャッチし、常にアジャストしたサービスの提供や施策・業務の遂行が非常に困難になってきていると感じる。美幌町として、今おかれている課題の解決に取り組む一方、将来に向けた課題に挑まなければならぬこ

ともあり、美幌町のよさと魅力を守りながら将来に繋げていくためには、新たなチャレンジや工夫が必要となること
答 少子高齢化をはじめと

来、近年では、感染症や大規模災害リスク、物価上昇による生活面での変化など時代の移り変わりが激しい中においても、行政は即応していくことが求められており、また、将来に向け長期的に取り組むことについても、時機を逸することなく、恐れずに挑む姿勢で取り組んできている。行政事務や施策業務の効率化に係る業務委託等の活用可能性については、まず、基本的な考え方として、業務を委託するなどして、現在も効率化が図られるものは積極的に取り入れている。現在、特に技術

職員の確保等が難しく、かつ、今後の大型事業も控える中で業務を円滑に進めていくためには、外部委託の方法等も現実的なものとして検討しているところである。一方で、業務委託は必ずしも行政のスリム化を図ることだけを目的としているわけではなく、課題に対して、まず、私たち行政がしっかりと達成すべき目標について、かかる経費やその必要性についてを検討し、最大の効果を最小の経費で挙げることを目指している。結果、地域の皆様との話し合いで解決に向かうことなどもあり、業務の委託化はあくまで選択肢の一つである。私たち美幌町は、これまでも多くの時代の変化を迎えてきたが、今、そして将来に向け、どのような手法が最も

適切なのを見極め実施してまいりたい。
問 情報発信の手段としてSNSなどを活用することも必要だが、自分で情報収集する人にか届かない形ではなく、気軽に全町民へ情報が届けられる体制整備の考えは。
答 これからは、町民の皆様に分事としてまちづくりに関わってもらうことにしっかりと力を入れるため、情報を発信するだけでなく、町民皆様に見てもらえる形にする方策を協議してまいりたい。



交通空白路線解消 問

地域おこし協力隊員募集など運転手不足 解消に努められているが、現状は

うえすぎ あきお
上杉 晃央 議員



答 タクシー運転手は人材確保ができていないが、バス運転手は十分な充足が図られていない

きめ細やかな支援を行ってまいりたい。

ライドシェアの導入

問 女満別空港を結ぶバス路線の美幌町における停留所は市街地から離れていることから、ライドシェアの導入を早急に検討すべきでは。

防災体制の充実

今後の防災対策の課題

及びガイドラインの確認、持続可能性の検討といった観点から慎重に検討してまいりたい。

問 交通事業者の人材確保
運転手不足解消のため交通事業者との協議や課題を踏まえた解決策などは行っているか。

答 交通事業者とのヒアリングの中で運転手志望者との労働条件のミスマッチによる退職など労働環境の改善が課題として挙げられ、町としては、地域おこし協力隊の募集に際し、十分な案内や相談体制など

答 ライドシェアについては地域公共交通の新たな選択肢としてその可能性に注目しているが、安全性、利用者保護、事業者との連携、法制度への対応など多岐にわたる検討事項がある。先行事例の徹底的な調査・分析をはじめ、関係機関との協議、法制度

及びガイドラインの確認、持続可能性の検討といった観点から慎重に検討してまいりたい。

問 役場防災担当職員を1名減とした理由と今後、防災専任職員を配置し充実する考えは。

答 有事における防災担当への業務集中といった課題解消のため、平時は最小限の事務機能とし、有事には組織全体で対応の充実を図る考えで減員としているが、日頃から防災力を高めることが重要であると

認識しており、今後、専門的な実践経験のある人材を配置する考え。

いがどのよう指導されているのか。また防災教育の現状認識は。

問 各種計画に基づき取り組んでいる事業で見直すべき、または拡充すべき事項など課題の把握は。

答 小学5年の社会科及び理科、小学6年の理科、中学2年保健体育科で防災に関する知識を学習しているが、体験を通じた学習機会が十分確保されていないことが課題であると認識している。

答 主に災害情報の伝達や災害弱者の避難などで課題があると認識しており、あんしんねつとびほろの普及や個別避難計画、DXの活用など様々な見直しや拡充を図ってまいりたい。

問 学校における防災訓練の取組や備蓄品の備蓄状況は。

問 防災士有資格の職員数と活用連携状況及び増員に向けた考えは。

答 各小中学校で危機管理マニュアルを整備し避難訓練や消火訓練を実施している。また、備品についても毛布、救急セット、灯油ストーブやバルーン照明などを備蓄しており、定期的な点検・補充を行っている。

答 現在11名で、今後増員に向けて増員を図ってまいりたい。

問 小中学校に「防災教育」という教科はな

学校における防災教育

問 小中学校に「防災教育」という教科はな

上杉議員の一般質問YouTube配信は
0:02:45 から 1:02:16 です。



美幌の自然保護 美幌の自然をどう未来へつなぐか

みやざき なつえ
宮崎 奈津江 議員



答 環境と共生する持続可能なまちづくりを町民とともに進めていきたい

問 広大な農地や森林、川、澄んだ星空など、自然と街並みが調和する美幌町において「未来に残すべき場所」を定め可視化することは、観光資源の保全や教育的価値の向上、関係人口・移住促進、町のブランド力向上につながるかと考える。しかし現段階では、景観や自然保全の観点で軸となる条例や行政判断の指針、明確な基準がなく、町としての環境理念

が見えにくいと感じている。また、美幌町は都市部に比べ星空を観察できる環境にあり、これは誇るべき貴重な資源であり、その価値を守るためには「光害」の抑制も重要と考える。国は、自然環境保全にとどまらず社会・経済全体で自然を豊かにしていく考え方として「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を掲げているが、町として持続可能な環境共生の理念をどのように位置づけ、今後のまちづくりにどう生かしていくのか。

答 豊かな自然や景観と街並みが調和した姿は、先人から受け継いだ町民共有の財産であり、次世代へ引き継いでいくことは、町の重要な責務であると認識している。環境保全や景観形成については、第6期総合計画や地球温暖化対策実行計画、緑の基本計画の中で位置づけて取り組んでいる。また、街路灯や公園照明のLED化により上空への光漏れが抑制され、光害対策にも一定の効果があると考えており、今後も省エネルギーの観点から、町民や事業者へこまめな消灯などの啓発を進めていきたい。国が掲

げる「ネイチャーポジティブ」は、社会・経済全体で生物多様性の保全に取り組む考え方であると認識しており、今後も既存計画を基本に社会情勢や地域課題を踏まえながら必要に応じて見直しや施策の充実を図り、環境と共生する持続可能なまちづくりを町民とともに進めていきたい。

問 斜網地区廃棄物中間処理施設建設事業とみどりの村再整備事業は、単なる施設整備にとどまらず「自然との調和するまち美幌」という姿勢を示す象徴的な事業にもなり得るのでは。

答 中間処理施設については、私どもが生きていく上で必ず廃棄物が出るので、きちんと向き合って環境を学ぶ施設として捉えて、学習の場として、多くの方に関わってもらえるような場所にしたいという思いはある。

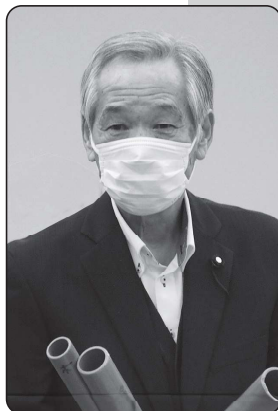
問 近隣の環境保全と観光振興の両方に取り組むエコツーリズムの新聞記事を拝読したが、道東全体で環境保全の取組や自然の価値を守り育てることが期待されているのでは。

答 まずは広域の中で美幌町としてどう関わっていくか、美幌町らしさをしっかり示していくことが大事だと思っている。



町民会館機材整備

高橋 秀明 議員
たかはし ひであき



問

びほろにおける通信カラオケなどの機材の充実整備を行う考えは

答 様々な課題を整理し、通信カラオケ機器導入の可否を判断したい

高橋議員の一般質問YouTube配信は 3:31:21 から 4:12:33 です。



問 びほろの利用団体の中にはカラオケ連合会等のカラオケを趣味とする団体があり、定期的に公演を開催しているが、現在のびほろの音響設備はカラオケに適した機材とは言えず有料の機材を借用していると同っている。利用ニーズに応え、高齢者等の健康維持の推進を図る上からも機材の充実整備を行う考えは。

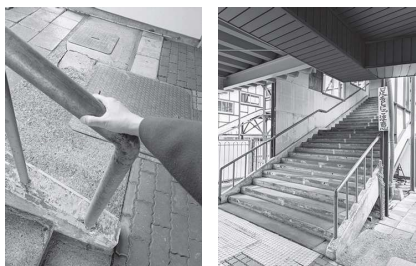
答 本町の文化祭におけるカラオケ発表では、例年、びほろ備え付けの音響機器を使用してリハーサルを行い、また、年に2〜3回開催されるカラオケ団体等主催の発表会では、専用のカラオケ機器を団体が持ち込み、利用されている状況である。昨年10月、美幌町文化連盟に加盟するカラオケ4団体の連名により「町民会館びほろ等への通信カラオケ機器導入について」の要望書が町に提出されている。教育委員会で内容の聴き取りを行った後、導入に係る初

期費用や維持費、利用可能な場所及び時間などの課題を整理し、検討する必要があると考えている。様々な課題を整理し要望のあったカラオケ団体と協議の上、通信カラオケ機器導入の可否を判断したい。

JR美幌駅舎の設備整備

問 令和6年9月定例会において、横山議員が「JR美幌駅ホームに向かう階段手すりの改修並びに渡り廊下への手すり設置について」一般質問した際、町長は「町として今後、もより安全で快適な駅づくりを目指して、JR北海道と密接に連携の上、美幌駅の改善が必要な点について必要な協議を継続的にを行い、その実現に向け積極的に進めてまいります」と答弁されているが、その後の改善要望等の対応は。

答 前回の答弁以降、利用者の皆様からの声として、跨線橋階段手すりの直径が太く、特に高齢者や女性にとつては握りにくいという御意見が寄せられていることを町からJR北海道へ継続的に伝え、改善を強く要望している。現時点において、JR北海道からは、安全・快適性の観点からその必要性を否定するものではないが、様々な設備の課題はJR美幌駅に限ったものではなく、改修等には一定の期間と費用を要するなど早期の改善実現は難しい状況にあり、具体的な改善に向けた回答は得られていない。町としては、今後も引き続き、JR北海道に対し早期の改善実現に向けた積極的な働きかけを行っていくとともに、利用者の皆様が安心してJR美幌駅をご利用いただけるようJR北海道と密接に連携し、安全で快適な駅づくりに努めてまいります。



JR美幌駅跨線橋

商店街活性化

よきま きよみ
横山 清美 議員



問

美幌町における空き店舗の有効活用と出店促進の具体的な施策は

答

よきものは残し維持困難なものは解体を含め検討いただき、柔軟かつ実効的な施策を講じてまいりたい

問

一人暮らしの高齢者が住み慣れた自宅

で安心して暮らし続けることができるよう、事前に緊急連絡先や終活関連情報などを町に登録することで、本人の指名者、警察、消防や医療機関等から照会があった際に必要項目を開示できる「独居高齢者安心登録制度」に取り組む考えは。



介護認定状況

問

美幌町における介護認定（非該当・要支援・要介護）の結果が

他自治体に比べて厳しいとの声を聞いているが、認定状況は。

答

介護認定は、厚生労働省が定めた全国共通の基準及び判定プロセスに則り、全ての自治体において一律に実施されているものと認識しており、令和6年度の認定結果855件中、非該当10件、要支援258件、要介護575件、却下及び再調査12件となつている。

美幌町民会館の利用

利用の許可

問

町民会館において出張買取が開催されるタイミングで一部の悪質業者による強引な契約や押し売りなどのトラブルが発生しているとお聞きしているが、今後の出張買取業者に対する町民会館の利用許可の考え方について。

答

昨年10月、美幌町文化連盟に加盟するカラオケ4団体の連名により「町民会館びほろ等への通信カラオケ機器導入について」の要望書が町に提出されている。教育委員会で

内容の聴き取りを行った後、導入に係る初期費用や維持費、利用可能な場所及び時間などの課題を整理し、検討する必要があると考えている。様々な課題を整理し要望のあったカラオケ団体と協議の上、通信カラオケ機器導入の可否を判断したい。

横山議員の一般質問YouTube配信は
4:31:21 から 5:31:45 です。



安心して暮らせるまちづくり

問 美幌町においては「コンパクトなまちづくり計画」で「空き店舗の有効活用と出店促進」を明記されているが、具体的な施策の考えは。

答 これまで空き店舗活用事業、事業承継支援事業、起業家支援事業を実施しており、来年度から店舗リフォーム促進支援事業を拡充する予定である。

問 本人の意思を尊重するための有効な手法の一つであると考えますが、登録情報の有効性や行政介入範囲の整理、警察・消防等との連携の在り方、制度の

多文化共生の取組

町としてより積極的に多文化共生社会の実現に向けた施策に取り組む考えは

おおえ みちお
大江 道男 議員



答 令和8年度には職員1名を多文化共生マネージャーとして養成し多文化共生社会形成に向けた基盤づくりを進める

る費用が対象経費とされていることから、町としてより積極的に多文化共生社会の実現に向けた施策に取り組む考えは。

外国人の労働環境整備

「マネージャー」として養成し多文化共生社会形成に向けた基盤づくりを進める。

問 美幌町における外国人登録者数は年々増加し、特に技能実習生を中心とした外国人労働者への依存が増えてきている。今後ますます外国人雇用の割合は上昇すると想定されるが、外国人が働きやすい環境をつくり上げ、外国人雇用の推進を図る考えは。

答 人口減少社会における外国人人材の確保は有益であると考えており、現在、事業所への

の聴き取り調査や今後の推移予測を踏まえ、庁内の関係部署の主査職で構成するタスクフォースを立ち上げ、外国人人材の受け入れ方針を議論し、秋ごろまでには総合的なアクションプランを策定することで準備を進めている。

町民会館の備品整備

問 人生100年時代と言われる現代を過ごすには「生きがい」を持つことが重要であると考えられる。美幌町文化連盟傘下の4団体から町民会館に移動式通信カラオケ機器の導入を求め、要望が町に出されているとお聞きしているが「生きがい」の場の提供、あるいは生涯学習支援の観点からも通信カラオケ機器の導入について積極的に対応する

考えは。
答 昨年10月、美幌町文化連盟に加盟するカラオケ4団体の連名により「町民会館びほろ」等への通信カラオケ機器導入について「要望書が町に提出されているが、現時点で通信カラオケ機器導入の際には、新たにアンプ及びスピーカーなどの設置が必要なこと、機器の操作に専門スタッフの配置が必要なことなど課題がある。様々な課題を整理し要望のあったカラオケ団体と協議の上、通信カラオケ機器導入の可否を判断したい。

大江議員の一般質問YouTube配信は
5:46:22 から 6:46:25 です。



問 昨年11月26日、全国知事会は「外国人の持つ文化的多様性を地域の活力や成長につなげることで、地域社会を共につくる一因として包摂し、日本人、外国人を問わず、すべての方が安心して暮らし、活躍することができる多文化共生社会をつくっていきま

す」と宣言され、また、国は、地方財政措置として在留外国人への対応に必要な環境整備に係る費用が対象経費とされていることから、町としてより積極的に多文化共生社会の実現に向けた施策に取り組む考えは。

答 人口減少社会における外国人人材の確保は有益であると考えており、現在、事業所への

の聴き取り調査や今後の推移予測を踏まえ、庁内の関係部署の主査職で構成するタスクフォースを立ち上げ、外国人人材の受け入れ方針を議論し、秋ごろまでには総合的なアクションプランを策定することで準備を進めている。



1月臨時会

原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

条例改正 ■番号法施行条例の一部を改正する条例制定

地方公共団体情報システムの標準化に伴い、住民基本台帳に登録されていない者（住登外者）を標準準拠システムにおける「住登外者宛名番号管理機能」により適正な運用を図るため、所要の改正を行おうとするもの

補正予算 ■令和7年度美幌町一般会計補正予算（第7号）



- ・除排雪委託料……………3,504万4千円の増額
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業として、食料品等物価高騰対策緊急給付金給付事業……………2億1,212万円の増額
- 物価高騰対策ハイプレミアム商品券発行事業……………1億375万2千円の増額

2月臨時会

原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認 ■令和7年度美幌町一般会計補正予算（第8号）

- ・2月8日投開票の衆議院議員総選挙に係る経費

補正予算 ■令和7年度美幌町一般会計補正予算（第9号）

- ・みどりの村森林公園再整備建築工事等に係る工事請負費、消耗品費、庁用備品等の関係経費……………8億3,353万1千円の増額

工事請負契約の締結

- ・第Ⅳ期埋立処分場浸出水処理施設建設工事 労務単価等の変動に伴う契約金額の変更……………（変更前）13億5,080万円（変更後）14億1,268万6千円

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所と氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

6月定例会は6月16日(火)頃から開かれる予定です。

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

3月定例会の傍聴者は19名でした。みなさまの傍聴をお待ちしております。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

美幌町ホームページから「美幌町議会」をご覧ください。

QRコードからアクセスできます



こちら→

あとがき

▼新学期・新入学を迎えました。登下校の際は、交通事故にあわないよう十分気を付けましょう。

▼昨年9月定例会で設置した美幌町議会上推進（くよりはたらく）委員会を（くよりはたらく）特別委員会に指して、議会広報、議会モニター制度、議員力フェの本格実施、議員のなり手不足対策の4項目について事務調査をしています。今後についても、開かれた議会のなお一層の実現を図るため、議員間で活発に議論してまいります。

▼3月定例会においては令和8年度予算審議が行われ、各議員による活発な議論が交わされました。議会の様子については、インターネットでのライブ配信をはじめ、終了後には録画配信も行っておりますので、ぜひ、ご覧ください。

議会運営委員会

- 委員長 稲垣 淳一
- 副委員長 宮崎奈津江
- 委員 木村 利昭
- 委員 馬場 博美
- 委員 吉住 博幸

(博美)